

アルコールストーブの製作



さまざまなストーブの作り方が公開されていますが、ここでは1本の空き缶から作る方法を紹介します。

材料は350mL のアルミ缶だけです。副室を作り、その中でアルコールを気化させ、小さな穴から噴出させることで、勢いのある燃焼をさせることができます。

2021・04・11 XRQTechLab



空き缶から3つの部品を切り出します。予め上の蓋の部分は切り取っておきます。所定の長さで上の部分と底の部分を切り取ります。残りの部分から副室を作るためのテープを切り出します。

副室は上の口金に合うようテープを丸め、底に当たる部分に切れ込みを入れて、隙間のないようにぴったりと口金の内側に差し込むようにします。

口金の少し下側、肩の上あたりに1mmから2mmφほどの噴出孔を16個ほど開けておきます。



3つのパーツ



下側に切れ込みを入れたテープ



噴出孔を開けておく



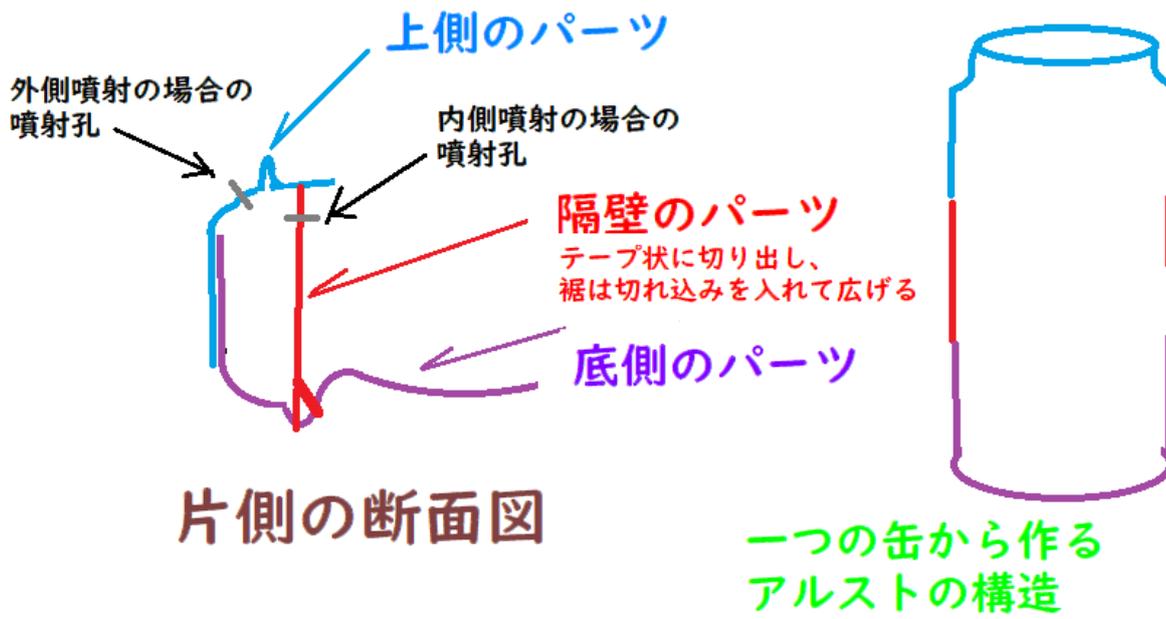
底のパーツにはひだを入れておく



3つのパーツを組み合わせる



少しずつ力を加えしっかりと合わせる



前頁の製作は外側噴射の穴を想定して説明しています。

各パーツの寸法については特に決まったものはないと思います。どの程度のものが作りたいか、それぞれの好みで調整してください。その際、副室を構成どのように構成するかを考慮してそれぞれの寸法が決まってきます。



内側噴射アルコールストーブ

2 個のアルミ缶の底を組み合わせて、内側に噴射するアルコールストーブを作ります。

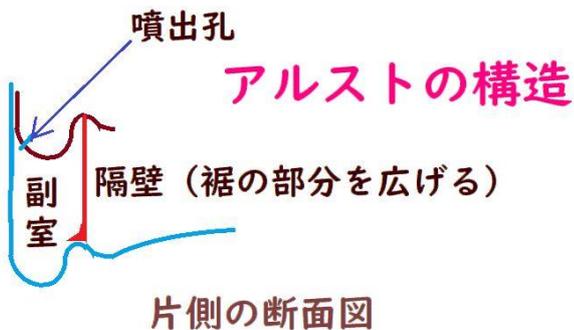
部材の切り出し

アルミ缶の底の部分を使います。また、副室の隔壁を構成するテープ状の部材も切り出します。寸法は、構造を理解したうえで好みの長さにしてください。



隔壁と噴出孔

写真は逆さの状態です。隔壁がこの状態で上側の部材と密着するようにテープ状の輪の大きさを調整します。また、底の部材と接する部分は切れ込みを入れ、外側に開くようにします。この隙間からアルコールが副室に入り込みます。



部材の組み合わせは、副室の上部が密閉されるようにすることがポイントです。熱せられて、ここで気化したアルコールが噴出孔から吹き出し強力な火力を生み出します。作業は手を切りやすいので十分ご注意ください。